

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回吉川市障がい者の地域での生活を考える検討 会議
開 催 日 時	平成30年7月19日(木) 午前10時から 正午まで
開 催 場 所	吉川市役所302会議室
出席委員(者)氏名 (名簿順標記)	星座委員、互委員、鶴委員、野口委員、杉浦委員 鈴木委員、宮田委員、柳澤委員、糸井委員 金井委員、濱本委員
欠席委員(者)氏名	なし
出席職員職氏名	吉川市長 中原恵人 障がい福祉課 加藤課長、砂川係長、秋谷主任
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 ワークショップ 4 意見交換 5 閉会 会議は公開とする
非公開の理由 (会議を非公開にした 場合)	
傍聴者の数	0人
会議資料の名称	
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	杉浦委員、鈴木委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

1 開会

2 あいさつ

中原市長) すべての障がい者が自らの力を発揮できるまちづくりを進めている。当会議で委員の皆さんの思いや考えをお聞きし、市の政策に活かしていきたい。今回はワークショップを行い、意見交換を行いたい。

3 ワークショップ

障がい者の就労全般に関する意見というテーマで、ブレインストーミング方式で委員から意見を集め、出された意見を分類し、意見交換を行う。

4 意見交換

障がい者雇用の現状に関する意見

- ・身体障がい者の通勤について、通勤時間帯に対する配慮など企業の取り組みが求められる。実情として通勤を続けることができず、やむ無く退社する方も多い。
- ・本人の障がい状況によって働き方の希望も変わるので、企業には多様な働き方に対する配慮を期待する。
- ・聴覚障がい者にとっては、手話などの環境整備に企業の理解が得難く、業務に支障がある。

行政の政策に関する意見

- ・バリアフリー対応バスの増便や、吉川駅周辺の整備等の取り組みを期待する。
- ・聴覚障がい者にとっては、手話への理解、啓発と手話通訳の派遣がより受け易い環境整備を期待する。
- ・市としては、駅周辺のバリアフリー対策など、環境整備が必要と捉えている。順次取り組んでいきたい。

雇用のマッチングに関する意見

- ・新卒者の就職について、学校と企業のほか、家族や行政、支援機関と数多くの人、機関が関係してくる。これらの連絡調整をより円滑にすることが重要だ。
- ・市内企業に絞った形での合同面接会など、求職者と企業のマッチングを図る場があると良い。
- ・既存の合同面接会には企業以外に就労系サービスの事業所は参加していないが、事業所も含めた就労全般の面接会があると良い。
- ・市では現在、毎年秋にハローワーク越谷が主催する埼玉県東地区の障がい者雇用合同面接会に参加している。

農福連携に関する意見

- ・障がい者雇用における農業について、身体が健康な利用者にとっては適した職種で、運動不足の解消など良い面は多い。実際にやりがいを感じている利用者が多い。

- ・農業の専門知識がある支援員を養成することが難しい。
- ・利用者の工賃について、ひと月当たり数千円と僅かで、障害年金と合わせても生計を立てることができない額である。

#### 市内での雇用の創出

- ・過去に当事者家族でパン工場を興すことを構想したことがある。市内で製造から販売まで行い、障がい者の社会参加も期待できる。
- ・様々な工程と作業があり、障がいの程度に関わらず働くことのできる場所があると良い。たとえば廃品のリサイクル事業などが考えられる。
- ・市としては、庁舎跡地を障がい福祉関連で利活用することも検討している。今後の会議において、引き続き議論したい。

#### その他の意見

- ・市民まつりでの障がい関連の出店は、集客があまりできていない。障がい福祉の啓発のためにも、障がい福祉に特化したイベントがあると良い。
- ・障がい者週間と関連したイベントとして、市の屋内スポーツ大会があるが、文化、芸術に関連する行事も加えてみてはどうか。

#### 5 閉会

以上、会議の内容に相違ない事を証するため、ここに署名する。

平成30年9月27日

署名委員

鈴木 平

署名委員

杉浦道子

